

沖地ネット

巻頭言

沖縄県企画部地域・離島課 地域振興班
沖縄県地域づくりネットワーク運営委員
上野孝貴・西村峻

「地域づくりシンポジウム」が開催されます！

沖縄県は東西約 1000 キロ、南北約 400 キロの広大な海域の中に存在し、東西南北、それぞれの地域に独自の文化が息づいています。特に離島・過疎地域においては、先祖代々受け継がれてきた祭事、伝統的な工芸、芸能に加え、手つかずの自然、固有の動植物を抱えるなど、観光地として大きな魅力を有しています。

一方で、これらの地域では人口減少・高齢化が進み、地域活力の低下が懸念されています。地域を活性化させ、人口減少に歯止めをかけるためには、地域の持つ魅力ある素材を十分に活用することで県内外へのアピールを行い、UJIターンを呼び込むなど、人口増に向けた長期的な計画を立てることが重要です。沖縄県では、基礎的な生活条件の整備や地域住民の負担軽減を図る施策を推進するとともに、地域の特色を生かした産業の振興や、若者が定着できる魅力ある就業場の確保など、施策の実現に向けて取り組んでいます。

さて、今月1月29日（金）は沖縄県地域づくりネットワーク主催の地域づくりシンポジウムが開催されます。本シンポジウムは、～地域の資源を生かしたまちおこし～をテーマに、地域づくりの課題解決に向けた県内の先駆的な事例を紹介し、共に学ぶことを目的としています。当日は県内で地域づくりに奔走されている方による基調講演、4名の方々による事例発表のほか、意見交換が行われる予定です。自分たちの地域以外の方々の取り組みに触れることで、「これは活用できるのではないか」といった“気づき”に繋がり、県全体の地域づくりの活性化につながることを期待しています。

たくさんの皆様のご来場をお待ちしていますので、ふるってご参加ください。



（写真説明：左…上野、右…西村。仕事初めの日、沖縄県に
出向している奄美市職員は大島紬を着るのが慣例となっ
ている）

「地域づくりシンポジウム」～地域の資源を生かしたまちおこし～開催のお知らせ

日時：平成 28 年 1 月 29 日（金）13：30～17：30（受付開始：13：00 より）

場所：沖縄県市町村自治会館 2 階ホール（那覇市旭町 116-37）

上記の日程で開催いたします。多数の方のご参加をお待ちしています。

行政活動紹介

恩納村商工観光課 伊波雄一

こんにちは、この度は沖地ネット寄稿の機会を頂き、誠にありがとうございます。

今年度、恩納村では初めてとなる花火大会「第1回恩納村美ら海花火大会」を開催いたしました。当初は毎年7月に行われる「うんなまつり」の2日目と同時開催で打ち上げる予定でしたが、悪天候に見舞われ、10月に延期することになってしまいました。

花火大会を期待されていた村内外のお客様から、延期日程に関して多くのお問合せを頂き、改めて恩納村美ら海花火大会への関心の高さに身が引き締まる思いでした。

10月に延期開催となった花火大会では、打ち上げ場所を8つの主要ホテルが立ち並び恩納村の中部に位置する前兼久漁港へ、観覧場所及びイベント会場をホテルムーンビーチにて行いました。花火大会当日は、イベント開始時刻前から多くのお客様に会場へ来場して頂き、最終的にはホテルムーンビーチ内だけで約1万人の来場数で、周辺ホテルや飲食店、周辺道路を含めると2万人を超えるお客様に観覧して頂きました。

今回初めての花火大会ということで、我々スタッフの至らない面も多くありましたが、今回の反省やお客様からの意見・要望を第2回以降の花火大会へ活かしていきたいと思っております。今後の恩納村美ら海花火大会も宜しくお願い致します。



民間活動紹介

NPO 法人ツール・ド・おきなわ協会
事務局長 本村 信人

去る11月7日・8日に開催された「ツール・ド・おきなわ」は今年で第27回を迎えました。公道を走るレースとしては国内最長、参加人数も約4,500名と過去最高となりました。

当協会は大会運営のみならず、北部12市町村の活用を意図したコース設定、地元企業の活用による経済効果、国内外参加者の集客、地元ボランティアの調整等も含めて「やんばるは一つ」を合言葉に大会成功に向けて取り組んでおります。

大会ではレース部門が目立ちますが、各サイクリング種目も人気が高く、バリアフリーサイクリングや子供向けの一輪車・三輪車大会も開催しています。また、海外のプロチームを地域の学校に招待しての「国際交流事業」は、子供たちのキャリア教育として位置付けています。

大会とは別に自転車講習会も行い、交通ルール等の啓蒙活動、観光ルートの作成、また「ロードクリーンサイクリング」と銘打って道路清掃を行ったりと活動の幅は多岐にわたります。沢山の参加者が「来てよかった」と言っていたように。今後も、やんばるの活性化に寄与する活動に取り組んでいきたいと思っております。



平成27年度シマおこし研修交流会 in 宮古島大会報告

沖縄県地域づくりネットワーク事務局：桂

「平成27年度シマおこし研修交流会 in 宮古島」地域交流その魅力と課題～宮古島合併10周年+伊良部大橋開通記念～が、平成27年11月7日(土)～8日(月)の日程で、下地農村環境改善センター他において開催されました。

【開催内容】

11月7日

○13:00 受付開始

○13:30 開会 司会 美ぎ島宮古島 事務局長 新村一広

- ・開会の挨拶 沖縄県地域づくりネットワーク 副会長、運営委員長 山城定雄
- ・歓迎のあいさつ 宮古島市長 下地俊彦(代理：長濱政治)

○13:40 事例発表

- ・「今日も楽しいね」と笑って生きられる島 を目指して
-高齢者の知恵と経験が創る シマおこし-
NPO 法人池間福祉支援センター 理事長 前泊博美
- ・対馬市視察報告 NPO 法人池間福祉支援センター 三輪大介
- ・架橋離島としての現状と課題 ～架橋離島として、来間島の場合～
NPO 法人来間島まなびやー 理事 砂川葉子
- ・地域交流 その魅力と課題 伊良部地区の伊良部大橋開通後の可能性・取り組みについて
がじゅまる観光株式会社 代表取締役 猪子立子

○14:40 総評・討議 コーディネーター 日本 NPO センター 常務理事 田尻佳史

○フロアから(質疑応答)

コーディネーター 日本 NPO センター 常務理事 田尻佳史

○16:55 閉会

- ・閉会の挨拶 宮古島市生活環境部長 平良哲則 ※全員で交流会会場設営

○17:15 交流会開始

【余興】 創作エイサー「男塾-武 Doo」 フラダンス

【料理】 ていだの郷より

○19:30 交流会閉会 「ていだの郷」へ移動

○21:00 夜なべ談議～23:00 終了

11月8日

○ 9:00 宮古島市役所本庁舎前集合

○ 9:15 現地視察・研修出発 伊良部島「ていだの郷」移動 伊良部島宿泊者と合流後
伊良部島視察研修

○ 11:30 昼食「ていだの郷」

○ 12:30 伊良部島「ていだの郷」出発

○ 13:00 宮古島市役所本庁舎前にて解散

研修会閉会の前に、これまで沖地ネットの運営委員として、また、今回の宮古大会においても宮古島市役所の担当であった平山茂治さんが、10月15日付で企画制作部振興開発プロジェクト局へ移動の報告がありました。

突然の移動で、我々、沖地事務局もてんやわんやでしたが、後任となった友利浩幸副班長、本研修交流会を計画段階から切り盛りしていただいた新村一広さんのご苦勞は大変な万尾であったと思います。

そして、移動になりながらも多方面からご助力いただいた平山茂治さん。ご協力ありがとうございます。お疲れさまでした。そして、これからもよろしくお願いします。

【感想】

今回の宮古島研修交流会は、地域で活動されている方々の事例発表を聞く事が出来ました。それぞれの経緯（在住、移住、Uターン）からの事例発表は、非常に貴重な事例発表だと思います。

さらに、総評・討議の際には、コーディネーターの田尻さんの巧みな進行により、発表者の方から意見を引き出していただき。発表では聞けない部分に入り込んだ討論会となりました。フロアを交えた質疑応答も、事務局サイド（私）の、「質問が出なければどうしよう。」という心配とは裏腹に、時間が足りなくなるほどの熱い討論となり、その熱気は交流会、夜なべ談議へと引き継がれ、これまで私が参加した討論会で、最も印象に残る時間となりました。

本大会の開催にあたり、開会の挨拶を頂きました山城定雄様、歓迎の挨拶を頂きました宮古島市副市長：長濱政治様、事例発表を頂いた、前泊博美様、三輪大介様、砂川葉子様、猪子立子様、討論会のコーディネイトを頂いた田尻佳史様、閉会の挨拶を頂きました宮古島市生活環境部長：平良哲則様、また、本大会の開催にあたり宮古島市より、まちづくり振興班長：石垣和郎様、副班長：友利浩幸様、振興開発プロジェクト部補佐：平山茂治様、美ぎ島宮古島事務局長：新村一広様には大変お世話になりました。その他、運営をお手伝い頂いたスタッフの皆様、参加者の皆様、お疲れさまでした。



新村一広さん



山城定雄 副会長兼運営委員長



宮古島市長代理：長濱政治氏



会場の様子



前泊博美さん



三輪大介さん



砂川葉子さん



猪子立子さん



田尻佳史さん



総評・討議の様子



盛んな質疑・応答



平山茂治さんの挨拶



閉会挨拶 宮古島市生活環境部長 平良哲則氏

